

第44圖 井戸3・4出土土器実測図(縮尺1/4)

第45図1～5は溝45から出土した。1・4は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯は外傾し、外側に開く。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。2は短い口縁帯を持つ甕形土器である。口縁帯が外傾し、外側に開く。体部の内外面にハケ調整を施し、頸部付近に指頭圧痕を残す。3は近江系の甕形土器である。口縁部は屈曲して直立し、短い口縁帯を持つ。端部は真上につまみ上げ、受け口状の断面を持つ。体部外面にハケ調整を施す。5は台付壺である。口縁部・体部・脚部とも、外面にミガキ調整を施す。内面にケズリ調整を施すが、口縁部内面にはミガキ調整も見られる。口縁部は若干内彎し、端を丸くおさめている。

同図6～13は大溝1から出土した。6・8は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、端部は内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施すが、口縁部の内面にハケ調整を残す。7は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整と一部ハケ調整、口縁部内面にハケ調整を施す。9は甕形土器である。体部の内外面にハケ調整を施す。頸部内面と体部内面中央に指頭圧痕が見られる。口縁部はあまり屈曲せずに広がり、内外面にハケ調整を施す。底部は残っていないが、体部最大径は体部の上半部のほぼ中央にあり、比較的長胴である。弥生時代中期の所産と見られる。10は二重口縁を持つ甕形土器である。若干の受部を持ち、外反する口縁帯を付加する。口縁帯下端は器壁に対して垂直に突出している。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。11は山陰系の壺形土器である。口縁帯下端に突出部を持つ。体部外面にはハケ調整後にケズリ調整、内面にはケズリ調整を施す。12は高坏形土器である。坏部外面にケズリ調整を施し、口縁部外面にハケ調整を残す。坏部と裾部の内面にもハケ調整が見られる。脚部内面はケズリ調整を施す。坏部は底部から屈曲して直線的に伸び、端部で丸くおさめる。脚部は坏部底部から開き気味に伸び、屈曲して直線的に伸び、端部で丸くおさまり、裾部を造る。13は平底の鉢形土器である。体部の外面にハケ調整を施すが、底部周辺のみミガキ調整を施す。体部の内面にハケ調整を施す。口縁部の下に横並び等間隔で3つ、その対面に同じく横並び等間隔で2つ、合計5つの穿孔を施す。

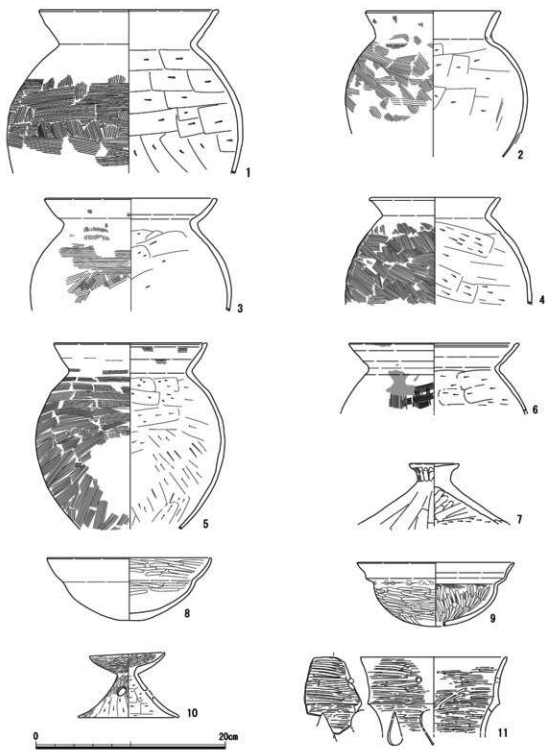
第46図1～11はE11区土器集中地点より出土した。これは前章で述べたように、土器集中出土状況を遺構(土坑11)と想定して調査したが、結果として遺構の形状を確定できなかったものである。厳密に言えば、遺構遺物と呼ぶには語弊があるが、基本的には包含層中で完結した遺構と推測されることや、各遺物の内容からもある程度の一括性はうかがえることから、本項で遺構遺物として掲載する。

1～6は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、端部は内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。7は蓋形土器である。外面にナデ調整、内面にケズリ調整を施す。つまみ部は指で押さえる。8・9は鉢形土器である。8の体部外面にケズリ調整、内面に横方向のミガキ調整、口縁部付近に一部ミガキ調整を施す。9の体部外面にはミガキ調整、内面にはハケ調整後にミガキ調整を施す。頸部に指頭圧痕が認められ、口縁部は外側から面取りされている。10は器台形土器である。受部の内外面にミガキ調整、脚部上半にミガキ調整、内面にケズリ調整を施す。脚部の三方向に円孔を施す。口縁部は端部で立ち上がり、側面から面取りされたと思われる。11は装飾器台形土器の口縁部である。内外面にミガキ調整、小孔と上下交互に連続する水滴状の透かしを施す。

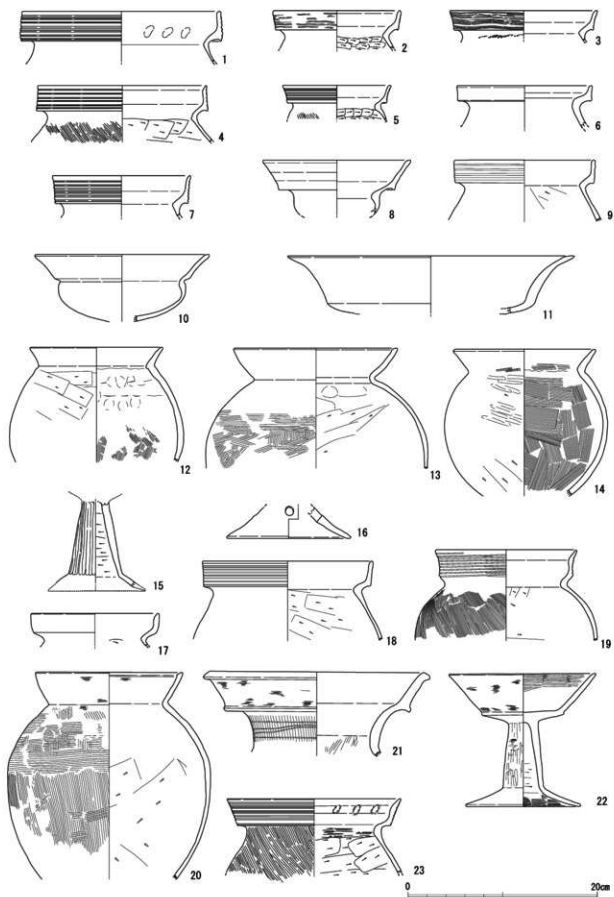
第47図1～8は土坑31から出土した。1～7は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯にはナデ調整後に6～8条の擬凹線を施すが、6の口縁帯には施されない。基本的に体部は外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。1の口縁部内面に連続指頭圧痕を残す。8は有段口縁を持つ鉢形土器である。口縁部に擬凹線は施されず、全てナデ調整である。



第45圖 清出土土器実測図(縮尺1/4)



第46图 E11区土器集中地点出土土器实测图(缩尺1/4)



第47圖 土坑出土土器実測図(縮尺1/4)

同図9・10は土坑91から出土した。9は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に4条の擬凹線を施す。体部外面の調整は不明であるが、内面はケズリ調整を施す。10は鉢形土器である。調整は摩滅のため不明である。

同図11は土坑163から出土した。高坏形土器の坏部である。調整は摩滅のため不明である。

同図12~14は土坑186から出土した。12・14は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。12は体部外面にケズリ調整を施し、一部にミガキ調整が残る。体部内面は下半部に縦のハケ調整を残し、上半部に輪積み痕と、輪積み痕を消すように指頭圧痕も残す。14の外面調整は12とほぼ同じであるが、ミガキ調整を明確に残す。また、内面は頸部までハケ調整を施す。13は布留系の甕形土器である。口縁部は内彎し、端部で内側に肥厚させ、内上方に面を持たせる。体部の外面上半部に横ハケ調整、下半部に縦ハケ調整を施し、体部内面にケズリ調整を施す。また、頸部内面の下方には指圧痕を残す。

同図15・16は土坑190から出土した。15は高坏形土器の脚部である。外面にミガキ調整、内面にケズリ調整を施す。16は高坏もしくは器台形土器の脚部と見られる。三方に円孔を施す。

同図17~19は土坑204から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。18・19の口縁帯はナデ調整後に9条の擬凹線を施す。体部の外面調整は、19にハケ調整が残るが、あとは不明である。内面調整は3点ともケズリ調整を施す。

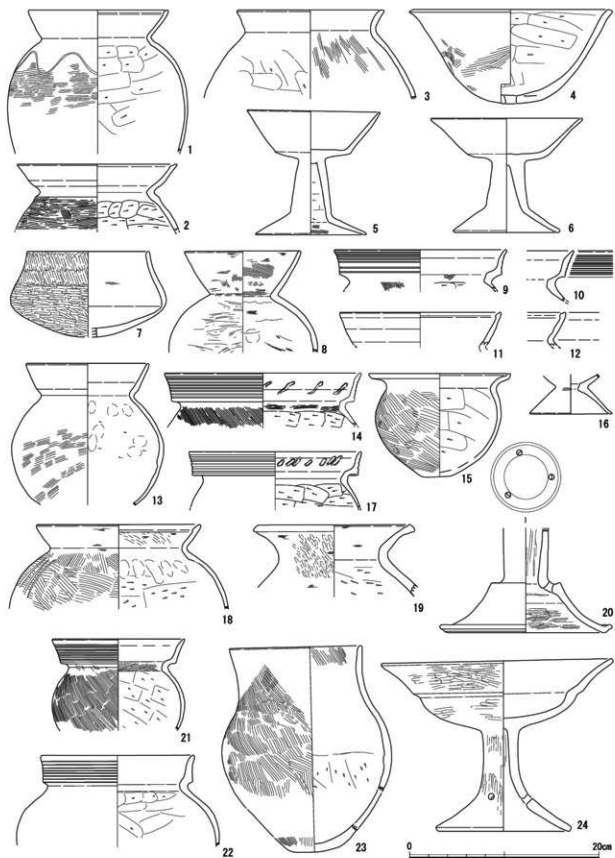
同図20~22は土坑250から出土した。20は布留系の甕形土器である。体部外面は上半部に横ハケ調整、下半部に縦ハケ調整、体部内面にケズリ調整を施す。口縁部は内彎し、端部で内側に肥厚させ、内上方に面を持たせる。21は二重口縁を持つ壺形土器の口縁部および頸部である。口縁帯が外反して、端部に面を持つ。口縁帯下端は垂下させる。外面調整は、口縁部にナデ調整、頸部に縦ハケ調整を施す。内面はナデ調整であるが、一部にハケ調整の痕跡を残す。また、頸部外面に4条の沈線を施す。22は高坏形土器である。坏部は底部に一段を造り、そこから屈曲させて直線的に伸び、口縁端部を丸くおさめる。外面にナデ調整、内面に横ハケ調整を施す。脚部は長い上半部を持ち、裾部は若干外反しながら、大きく伸びる。脚部外面上半部にミガキ調整、裾部内面にハケ調整を施す。

同図23は土坑258から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に8条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面はハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部にケズリ残しが見られる。口縁帯内面に連続の指頭圧痕を残す。

第48図1~6は土坑147から出土した。1・2は布留系の甕形土器である。口縁部は若干内彎し、端部で内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。1の肩部に帷帽の波状文を施す。3は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。口縁部は若干外反し、端部で丸くおさめる。体部の外面にケズリ調整、内面にハケ調整を施す。4は鉢形土器である。外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。底部に穿孔が見られる。5・6は高坏形土器である。外面にナデ調整、内面は脚部にケズリ調整、裾部にハケ調整を施す。

同図7は土坑266から出土した。壺形の高坏形土器の坏部である。外面にミガキ調整、内面にナデ調整を施す。

同図8は土坑298・299から出土した。壺形土器である。口縁部は長く、内彎ぎみに伸びる。内外面ともハケ調整を施し、体部内面に指頭圧痕を残す。



第48図 土坑・ピット出土土器実測図 (縮尺1/4)

同図9は土坑299から出土した。有段口縁を持つ甕形土器の口縁部である。口縁帯はナデ調整後に7条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施すが、ハケのケズリ残しも見られる。

同図10は土坑423から出土した。有段口縁を持つ甕形土器の口縁部である。口縁帯はナデ調整後に7条の擬凹線を施す。

同図11～16は土坑425から出土した。11・12は布留系の甕形土器の口縁部である。口縁部は若干内彎し、端部で内側に肥厚する。13は直口の壺形土器である。口縁部は直線的に広がりながら伸びる。体部外面にハケ調整を施し、内面に指頭圧痕を残す。14は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯にはナデ調整後に8条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部内面にハケ調整のケズリ残しが見られる。口縁部内面に連続する指頭圧痕を残す。15は鉢形土器である。口縁部断面は受け口状を呈する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。16は器台形土器である。内外面ともハケ調整を施す。

同図17は住居1土坑から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に5条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部にハケのケズリ残しが見られる。

同図18は土坑402から出土した。布留系の甕形土器である。口縁部は若干内彎し、端部で内側に肥厚する。外面にハケ調整、内面は口縁部にはハケ調整後にナデ調整、体部にケズリ調整を施す。頸部付近に指頭圧痕を残す。

同図19・20は土坑187から出土した。19は壺形土器である。口縁部は屈曲し、外傾しながら伸び、端部は外上方に面を持つ。外面にミガキ調整を施すが、ハケ調整も若干残る。内面は口縁部にハケ調整、体部にケズリ調整を施す。20は器台形土器の脚部と見られる。裾部は上面3ヶ所に円孔、内面にミガキ調整を施す。

同図21・22はp441から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に8条の擬凹線を施す。体部の調整は、21は外面にハケ調整、内面はハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部にケズリ残しが見られる。22は内面にケズリ調整を施す。

同図23はp663から出土した。壺形土器である。偏球胴を呈する。外面にハケ調整、内面は口縁部付近にハケ調整、体部にケズリ調整を施す。

同図24はp994から出土した。高環形土器である。外面はミガキ調整、裾部3ヶ所に円孔を施す。

II 包含層出土土器

第49図1～3は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、若干内彎して伸び、端部で内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。3は肩部に櫛描の波状文を施す。

同図4・6は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。4の口縁部は屈曲し、外反して伸び、端部は外側上方に面を持つ。6の口縁部は屈曲し、外傾して伸び、端部を丸くおさめる。体部調整は、4は外面にケズリ調整、内面にハケ調整、6は外面にハケ調整、内面にケズリ調整をそれぞれ施す。

同図5は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯に擬凹線は見られず、ナデ調整のみ施す。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図7は甕形土器である。形態は布留系の甕に酷似する。口縁は屈曲し、内彎ぎみに伸び、端部を内

側に肥厚する。外面はハケ調整後、肩部周辺に格子状のタタキ目を施す。内面にはケズリ調整を施す。焼成前に施されたと思われる四角い穿孔を肩部に残す。韓式系土器と推測される¹。

第50図1・5は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、外傾して伸び、端部内側に肥厚する。外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図2は近江系の甕形土器である。口縁部は屈曲して直立し、短い口縁帯を持つ。端部は真上につまみ上げ、受け口状の断面を持つ。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図3・4は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯中央にナデ調整を強く施す。外面にはハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施す。頸部にケズリ残しが見られる。

同図6は甕形土器の体部である。外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図7は甕形土器である。口縁部下端部が突出し、口縁部先端で若干反する。体部外面には縦と斜方向のハケ調整、内面にケズリ調整を施し、肩部外面に波状文を刻む。山陰系土器と推定される。

同図8～13は小型の甕形土器である。いずれも底部は丸底、もしくはそれと考えられる。基本的には外面にはハケ調整、内面にはケズリ調整を施すが、8は外面にケズリ調整、13は外面にミガキ調整、内面にハケ調整を施す。また、9の肩部は柳描の円文を施し、13の底部は穿孔される。

同図14は甕形土器の口縁部である。長く内彎して伸び、端部は内側上方に面を持つ。外面はミガキ調整後に18条の擬凹線を施し、内面にもミガキ調整を施す。

第51図1～3は高坏形土器である。3の坏部の立ち上がりには明確な段が見られる。2・3の坏部内面にはハケ調整を施す。

同図4・5は蓋形土器である。4は外面にミガキ調整を施し、つまみ部と内面に指頭圧痕を残す。

同図6～13は器台形土器である。6・7は有段の棒状脚の器台である。また、7・11～13は脚部に円孔を施す。外面調整は基本的にミガキ調整で、内面調整は、7・13はハケ調整、8はケズリ調整、9・10はミガキ調整、12はハケ調整後にミガキ調整を施す。

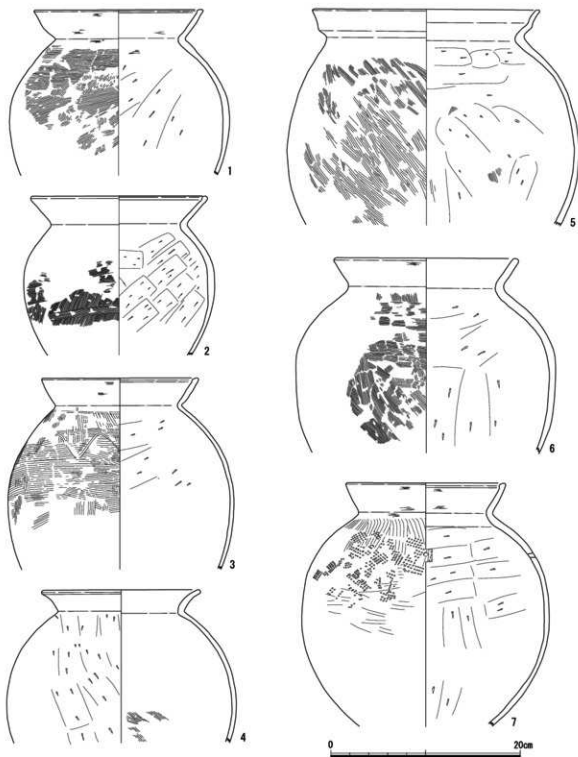
同図14～18は鉢形土器である。14の底部には穿孔が見られる。内外面ともハケ調整を施す。15・16は台付の鉢形土器である。16の内面には指頭圧痕が残る。17・18は小型丸底の鉢である。外傾して長く伸びる口縁部を持つ。18の外面にはハケ調整、内面には口縁部にハケ調整、鉢部にミガキ調整をそれぞれ施す。

同図19は装飾を持つ大型壺の口縁部である。二重口縁の上段口縁帯に、縦に2列（合計8～10点）の竹管文が、およそ8cm間隔で巡る。ハケ調整の痕跡が若干残る。

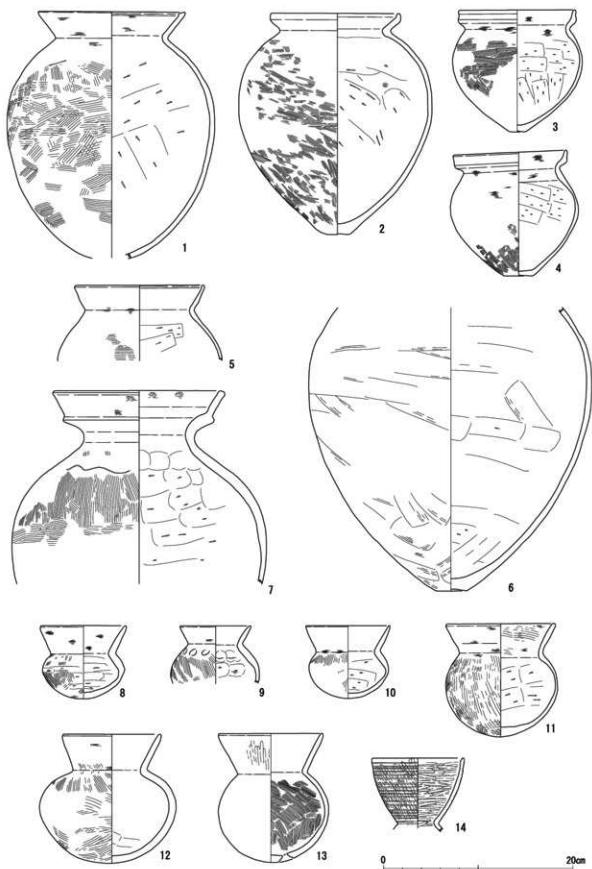
同図20・21はミニチュア土器である。

註

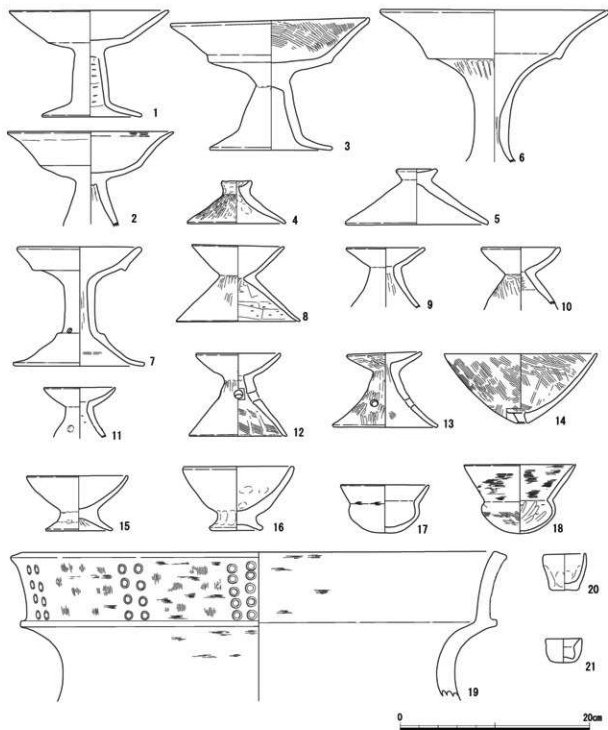
- 1 この資料は、川本紀子氏によりすでに紹介されている（川本紀子 2003 「越前・若狭における韓半島系土器の一様相」『北陸古代土器研究』第10号 北陸古代土器研究会 129～135頁）が、氏の記述内容と本書の内容との間に齟齬があっても、本書は氏の見解を直ちに訂正するものではない。



第49図 包含層出土土器実測図(1) (縮尺1/4)



第50圖 包含層出土土器実測図(2)(縮尺1/4)



第51図 包含層出土土器実測図(3)(縮尺1/40)

第5表 土器観察表(口径・底径・器高はcm、カッコ付の数値は復元値もしくは残存値)

標記No	器種	地区	遺構名	口径	底径	器高	調整	胎土	色調	焼成	残存率	備考
第43図1	甕	G11	周溝堀1 内溝4	(16.4)	-	(5.1)	内)口縁部コナツの塊ナツギキ 底部ハナ 内)口縁部コナツ、復元寸ニ 底部ナツ	長石・石英・クワナ	10YR7/3 に灰黄	良好	口縁部 33%	擬図線6条
第43図2	甕	E5	建物14 右壁2	(16.0)	-	(6.3)	内)口縁部コナツの塊ナツギキ 底部ハナ 内)口縁部コナツ、復元寸ニ 底部ナツ	長石・雲母・クワナ	10YR6/4 黄灰	良好	口縁部 10%	擬図線不明瞭
第43図3	甕	E5	建物14 右壁2	(17.8)	-	(7.2)	内)口縁部コナツの塊ナツギキ 底部ハナ 内)口縁部コナツ、復元寸ニ 底部ナツ	長石・雲母・クワナ	10YR6/4 黄灰	良好	口縁部 10%	擬図線10条
第43図4	甕	E5	建物14 右壁2	(15.2)	-	(4.2)	内)口縁部コナツの塊ナツギキ 底部ハナ 内)口縁部コナツ、復元寸ニ 底部ナツ	長石・雲母・石英・クワナ	10YR7/4 に灰黄	良好	口縁部 20%	擬図線9条
第43図5	甕	E5	建物14 右壁2	-	3.2	(5.8)	外)底部ハナ 内)底部ナツ	長石・雲母・クワナ	10YR7/4 に灰黄	良好	底部のみ	
第43図6	甕	E5	建物14 右壁2	-	1.8	(7.7)	外)底部板ナツ 内)底部板ナツ	長石・カセシ・クワナ	10YR7/4 に灰黄	良好	底部のみ	
第43図7	壺	L24	建物23 右壁1	13.4	-	(5.6)	外)ハナ 擬図線 内)ナツ	赤 砂粒多く含む	7.5YR4 黄灰	良好	10%	擬図線7条
第44図1	甕	F7	井戸3	-	2.8	20.0	外)ハナ、比類	赤 1~2mm砂粒含む	10YR7/3 に灰黄	やや軟	40%	擬図線9条
第44図2	甕	F7	井戸3	16.0	(4.0)	18.9	外)ハナ、ナツ 内)ハナ、ナツ、擬図線	赤 1mm大の砂粒多く含む	7.5YR4/4 黄灰	良好	80%	
第44図3	甕	F7	井戸3	13.4	-	(11.6)	外)ハナ、擬図線 内)ナツ	赤 砂粒含む	7.5YR4/4 黄灰	良好	30%	擬図線6条
第44図4	甕	F7	井戸3	10.6	2.1	15.7	外)ハナ	赤	7.5YR4/4 黄灰	良好	60%	
第44図5	壺	F7	井戸3	18.2	-	32.5	外)ハナ 内)ハナ	赤	7.5YR4/4 黄灰	良好	75%	
第44図6	甕	F4	井戸4	15.4	-	(15.0)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	7.5YR7/4 に灰黄	良好	40%	
第44図7	甕	F4	井戸4	(15.0)	-	(12.5)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	7.5YR6/6 黄	良好	20%	
第44図8	甕	F4	井戸4	17.4	-	(11.1)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	5YR7/6 黄	良好	15%	
第44図9	甕	F4	井戸4	(14.0)	-	(14.8)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	5YR7/6 黄	良好	40%	
第44図10	甕	F4	井戸4	(15.4)	-	(10.2)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	7.5YR4/4 黄灰	良好	20%	
第44図11	甕	F4	井戸4	(15.4)	-	(10.0)	内)ナツ 擬図線	赤 砂粒含む	7.5YR4/4 黄灰	良好	20%	
第44図12	鉢台	F4	井戸4	9.2	(13.0)	9.4	外)口縁 内)ハナ	赤	5YR7/6 黄	良好	65%	
第44図13	二重口縁 壺	D5	井戸4	19.6	-	(5.2)	内)腹状文 外)ハナ	赤	7.5YR6/8 黄	良好		
第45図1	甕	F3	溝45	(18.0)	-	(6.2)	内)口縁部コナツ 底部ハナ 内)口縁部コナツ 底部ナツ	長石・雲母・クワナ	5.2YR7/1 黄	良好	口縁部 16%	
第45図2	甕	F3-5	溝45	17.0	-	(6.0)	外)ハナ 内)ハナ、擬図線	赤	7.5YR6/8 黄灰	良好	10%	
第45図3	甕	F3	溝45	15.9	4.0	(21.8)	外)ハナ	赤	7.5YR7/6 黄	良好	25%	外歪ス入付着
第45図4	甕	F2-3	溝45	15.3	2.3	18.1	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	10YR6/4 黄灰	良好	85%	
第45図5	台付壺	F3	溝45	(11.0)	10.1	17.5	内)口縁	赤 1mm大の砂粒多く含む	5YR7/6 黄	良好	85%	
第45図6	甕	C4	大溝1	15.6	-	(23.8)	外)ハナ 内)ハナ、ナツ	赤	10YR7/4 に灰黄	良好	50%	
第45図7	甕	F4	大溝1	(15.8)	-	(24.4)	外)ハナ 内)ハナ、ナツ	赤	10YR7/3 に灰黄	良好	50%	
第45図8	甕	F3	大溝1	(16.0)	-	-	外)ハナ 内)ナツ	赤	7.5YR7/6 黄	良好	10%	
第45図9	甕	D-23	大溝1	(21.0)	-	(23.7)	外)ハナ 内)ハナ、擬図線	赤	10YR7/3 に灰黄	良好	60%	
第45図10	二重口縁 壺	B1	大溝1	18.0	-	(20.0)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	7.5YR6/6 黄灰	良好	35%	
第45図11	壺	F2	大溝1	(19.4)	-	(21.0)	外)ハナ、ナツ 内)ハナ、ナツ	赤 砂粒多く含む	10YR6/4 黄灰	良好	20%	
第45図12	高坏	D3	大溝1	14.4	-	12.4	外)ナツ、ハナ 内)ハナ	赤 砂粒含む	7.5YR4/4 黄灰	良好	75%	
第45図13	平底鉢	D4	大溝1	9.4	4.9	7.2	外)ハナ、ヒギキ 内)ハナ	赤	10YR6/3 に灰黄	良好	100%	穿孔有り
第46図1	甕	E11	土器集中 (土坑11)	18.6	-	(17.2)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒含む	10YR6/3 黄灰	良好	40%	外歪ス入付着
第46図2	甕	E11	土器集中 (土坑11)	14.0	-	(15.4)	外)ハナ 内)ナツ、ナツ	赤 1~2mm砂粒含む	7.5YR6/3 に灰黄	やや軟	70%	
第46図3	甕	E11	土器集中 (土坑11)	(17.8)	-	(12.5)	外)ハナ 内)ナツ	赤	7.5YR6/6 黄	良好	10%	
第46図4	甕	E11	土器集中 (土坑11)	13.6	-	(11.2)	外)ハナ 内)ナツ	赤	10YR6/3 に灰黄	良好	50%	
第46図5	甕	E11	土器集中 (土坑11)	(16.0)	-	(19.0)	外)ハナ 内)ナツ	赤 砂粒多く含む	7.5YR6/6 黄	良好	20%	

第5章 遺物

標記No.	器種	地区	遺物名	口径	底径	器高	調整	胎土	色調	焼成	残存率	備考
第465図6	甕	E11	土器集中 (土灰11)	(17.8)	-	(5.8)	内)口縁部コナダ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・クワリ	7.5YR6/4 にのみ焼	良好	口縁部 16%	右留残少
第465図7	甕	E11	土器集中 (土灰11)	-	(5.0)	(6.3)	内)底ナダ 内)2面底面オキス 外部ハケケツ	長石・雲母・クワリ	7.5YR6/4 にのみ焼	良好	8%	
第465図8	鉢	E11	土器集中 (土灰11)	17.2	-	6.7	内)口径	雲	5YR7/6 焼	良好	70%	
第465図9	鉢	E11	土器集中 (土灰11)	16.4	-	6.9	内)口径 ケツ 内)口径 ハケ	雲	5YR7/6 焼	良好	80%	
第465図10	甕	E11	土器集中 (土灰11)	7.9	10.6	6.9	内)口径 ケツ 内)口径 ケツ	雲	5YR6/6 焼	良好	80%	
第465図11	炭焼甕	E11	土器集中 (土灰11)	(13.4)	-	(8.0)	内)口径 内)口径	長石・雲母・クワリ	5YR6/4 にのみ焼	良好	口縁部 の一部	小皿と蓋状中心部残状の透かしを施す
第47図1	甕	G11	土灰31	(20.0)	-	(5.3)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・石灰・クワリ	10YR6/3 焼	良好	口縁部 10%	擬円錐7巻
第47図2	甕	G11	土灰31	(13.2)	-	(4.0)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・クワリ	10YR6/3 焼	良好	口縁部 10%	擬円錐6巻
第47図3	甕	G11	土灰31	(15.4)	-	(3.0)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・石灰・クワリ	10YR6/3 焼	良好	口縁部 12%	擬円錐6巻
第47図4	甕	G11	土灰31	(17.0)	-	(5.8)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・石灰・クワリ	10YR6/3 焼	良好	口縁部 30%	擬円錐6巻
第47図5	甕	G11	土灰31	(11.2)	-	(3.7)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・石灰・クワリ	10YR6/2 焼	良好	口縁部 10%	擬円錐6巻
第47図6	甕	G11	土灰31	(14.0)	-	(4.0)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・石灰	10YR7/2 にのみ焼	良好	口縁部 16%	
第47図7	甕	G11	土灰31	(14.4)	-	(4.1)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・石灰・クワリ	10YR6/3 にのみ焼	良好	口縁部 12%	擬円錐6巻
第47図8	鉢	G11	土灰31	(15.4)	-	(5.8)	内)口縁部コナダ 外部ナダ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・クワリ	10YR2/2 にのみ焼	良	口縁部 20%	
第47図9	甕	G-H9	土灰91	14.6	-	(6.5)	内)擬円錐 内)ケツ	雲 砂粒含む	7.5YR7/3 にのみ焼	良好	30%	擬円錐4巻、外面スズ付
第47図10	鉢	G-H9	土灰91	(13.2)	-	(7.1)	明確の高調整不明	雲 砂粒含む	7.5YR6/3 焼	良好	45%	
第47図11	高坏	G-H4	土灰163	(30.2)	-	(6.0)	外)不明 内)不明	長石・雲母・クワリ	7.5YR7/4 にのみ焼	良好	坏面の 一部	
第47図12	甕	G-H3	土灰186	(14.0)	-	(12.1)	外)ケツ スリキヤ 内)ハケ 調整痕	雲	10YR7/2 にのみ焼	良好	30%	
第47図13	甕	G-H3	土灰186	17.0	-	(12.7)	外)ハケ 内)ケツ 調整痕	雲	5YR7/6 焼	良好	25%	
第47図14	甕	G-H3	土灰186	14.6	-	(15.3)	外)ケツ (口径 ハケ 内)ハケ	雲	7.5YR7/4 にのみ焼	良好	60%	
第47図15	高坏	G3	土灰190	-	-	(8.0)	内)口径 内)ケツ	長石・石灰・クワリ	5YR6/6 焼	良好	胴部 67%	中空
第47図16	高坏	G3	土灰190	(13.0)	-	(3.3)	外)ナダ 内)底ナダ	長石・雲母・クワリ	10YR7/2 にのみ焼	良好	胴部 20%	三方凹孔有り
第47図17	甕	U9	土灰204	(13.4)	-	(3.3)	外)不明 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・クワリ	5YR6/6 焼	良好	口縁部 20%	
第47図18	甕	D9	土灰204	18.0	-	(8.4)	外)擬円錐 内)ケツ	雲 砂粒含む	7.5YR7/3 白	良好	40%	擬円錐9巻
第47図19	甕	D9	土灰204	14.8	-	(9.0)	外)ハケ 擬円錐 内)ケツ	やや粗	7.5YR6/4 焼	良好	20%	擬円錐9巻
第47図20	甕	D-E7	土灰250	15.4	-	(21.9)	外)ハケ 内)ケツ	雲 砂粒含む	5YR7/6 焼	良好	60%	
第47図21	二重口 甕	D-E7	土灰250	22.6	-	(8.9)	外)ハケ 内)ハケ	雲 砂粒含む	7.5YR6/4 焼	良好	30%	
第47図22	高坏	D-E7	土灰250	15.5	(12.2)	14.1	内)口径 内)ハケ	雲	5YR6/6 焼	良好	90%	
第47図23	甕	C6	土灰258	(18.2)	-	(7.8)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・石灰・クワリ	10YR6/4 焼	良好	口縁部 10%	擬円錐8巻
第48図1	甕	G6	土灰147	14.6	-	(15.2)	外)ハケ 現状 内)ケツ	雲 砂粒含む	7.5YR6/4 焼	良好	30%	
第48図2	甕	G6	土灰147	(16.8)	-	(6.9)	内)口縁部コナダ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・石灰・クワリ	10YR7/3 にのみ焼	良好	口縁部 8%	
第48図3	甕	G6	土灰147	15.0	-	(9.4)	外)ケツ 内)ハケ	雲	7.5YR6/4 焼	良好	20%	
第48図4	鉢	G6	土灰147	21.4	-	9.9	外)ハケ 内)ケツ	雲 1~2mm砂粒含む	10YR7/3 にのみ焼	良好	90%	底部穿孔有り
第48図5	高坏	G6	土灰147	14.0	11.5	13.2	外)ナダ 胴部内)ケツ ハケ	雲 1~2mm砂粒含む	5YR7/6 焼	良好	80%	
第48図6	高坏	G6	土灰147	(15.8)	11.0	12.1	外)ナダ 胴部内)ハケケツ	雲	7.5YR6/6 焼	良好	70%	
第48図7	埃州高坏	G99	土灰266	(12.8)	-	(9.0)	外)口径 内)ハケ	雲 砂粒含む	7.5YR7/6 焼	良好	20%	
第48図8	甕	C4	土灰298- 299	12.1	-	10.7	外)ハケ 内)ハケ 調整痕	雲	7.5YR7/6 焼	良好	50%	
第48図9	甕	C4	土灰299	(18.0)	-	(4.1)	内)口縁部コナダの裏ナダケツ 外部ハケ 内)口縁部コナダ 外部ケツ	長石・雲母・クワリ	7.5YR7/4 にのみ焼	良好	口縁部 の一部	擬円錐7巻
第48図10	甕	F3	土灰423	-	-	(5.1)	内)不明 内)不明	長石・石灰・クワリ	10YR7/4 にのみ焼	良好	口縁部 の一部	擬円錐7巻

第1節 土器

標記No	器種	地区	遺構名	口徑	底径	器高	調整	胎土	色相	焼成	残存率	備考
第485011	甕	F3	土坑425	(16.0)	-	(3.0)	外)口縁部コナダ 内)口縁部コナダ	灰石・石灰・クワノ	10YR7/2 に灰い	良好	口縁部 の一部	右留残か
第485012	甕	F3	土坑425	-	-	(3.0)	外)不明 内)不明	灰石・泥中・クワノ	7.5YR7/6	良好	口縁部 の一部	右留残か
第485013	甕	F3	土坑425	(12.0)	-	(14.0)	外)ハテ 内)ケツ 煎込	灰 1~2mm砂粒含む	10YR6/6 黄緑	良好	25%	
第485014	甕	F3	土坑425	(20.0)	-	(5.0)	外)口縁部コナダの後タンダキ 体部ハテ 内)口縁部コナダ、胎オス、体部ケツ	灰石・泥中・石灰・クワノ	10YR6/3 に灰い	良好	口縁部 10%	煎込残8条
第485015	鉢	F3	土坑425	14.9	3.0	10.0	外)ハテ 内)ケツ	灰 1~2mm砂粒含む	10YR4/3 に灰い	良好	90%	外留入付着
第485016	器台	F3	土坑425	-	8.6	(4.2)	外)ハテ 内)ハテ	灰	5YR6/4	良好	60%	
第485017	甕	E7-8	住居1土坑	(18.0)	-	(5.0)	外)口縁部コナダの後タンダキ 体部ハテ 内)口縁部コナダ、胎オス 体部ケツ	灰石・石灰・クワノ	10YR7/4 に灰い	良好	口縁部 10%	煎込残5条
第485018	甕	C5	土坑402	(17.2)	-	(8.0)	外)ハテ 内)ハテ ケツ 煎込	灰 砂粒含む	10YR4 黄緑	良好	10%	
第485019	甕	G2-3	土坑187	16.0	-	7.6	外)ヒキ 内)ケツ	灰	7.5YR4 黄緑	良好	25%	
第485020	器台	G2-3	土坑187	-	(6.4)	(11.1)	内)ヒキ	灰	7.5YR7/6	良好	脚部 20%	円孔有り
第485021	甕	D9	p441	(14.0)	-	(9.7)	外)ハテ 煎込 内)ハテ ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR6 黄緑	良好	15%	煎込残8条
第485022	甕	D9	p441	(16.0)	-	(9.7)	外)煎込 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR4 黄緑	良好	30%	煎込残8条
第485023	甕	C6	p603	(13.0)	5.0	(21.7)	外)ハテ 内)ケツ ハテ	灰	5YR7/6 黄	良好	50%	
第485024	高坏	L23	p994	24.2	18.25	(13.8)	外)ヒキ	灰	7.5YR6/3 黄緑	良好	60%	円孔3ヶ所有り
第49001	甕	J11	包含層	17.6	-	(17.0)	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR7/4 に灰い	良好	40%	
第49002	甕	H3	包含層	(18.4)	-	(16.0)	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR7/4 に灰い	良好	20%	
第49003	甕	E7-8	包含層	16.4	-	(20.2)	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	10YR4 黄緑	良好	50%	住居1出土片含む
第49004	甕	F4	包含層	(16.4)	-	(16.2)	外)ケツ 内)ハテ	灰 砂粒含む	7.5YR4 黄緑	良好	30%	
第49005	甕	F2	包含層	23.8	-	(22.0)	外)ハテ 内)ケツ ハテ	灰 砂粒含む	7.5YR4 黄緑	良好	30%	
第49006	甕	D2	包含層	(19.0)	-	(20.0)	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR4 黄緑	良好	15%	
第49007	甕	C2-3	包含層	(16.0)	-	(25.7)	外)ハテ タタキ 内)ケツ	灰	7.5YR7/6	良好	30%	横式系土器、穿孔有り
第50001	甕	L25	包含層	(15.4)	-	(26.1)	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR4 黄緑	良好	30%	
第50002	甕	F5-6	包含層	(13.0)	-	(23.4)	外)ハテ 内)ケツ	灰	10YR7/6 黄	良好	60%	
第50003	甕	L23	包含層	12.1	(1.0)	12.9	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR7/4 に灰い	良好	50%	
第50004	甕	L24	包含層	11.9	3.0	13.3	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	7.5YR6/4 に灰い	良好	70%	
第50005	甕	F4	包含層	(13.4)	-	(8.0)	外)ハテ 内)ケツ	灰	7.5YR6/6	良好	20%	
第50006	甕	D7	包含層	17.6	-	(20.0)	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	5YR7/6	良好	30%	
第50007	甕	F5	包含層	-	3.1	(30.0)	内)ケツ	灰	7.5YR7/6	良好	20%	
第50008	甕	C3	包含層	8.9	-	7.8	外)ハテ 内)ケツ	灰	10YR6/3 黄	良好	90%	
第50009	甕	C7	包含層	(7.0)	-	(6.1)	外)ハテ 内)煎込	灰 砂粒含む	7.5YR7/4 に灰い	良好	40%	
第50010	甕	L24	包含層	8.8	-	7.7	外)ハテ 内)ケツ	灰 砂粒含む	10YR4 黄緑	良好	50%	
第50011	甕	D2	包含層	(11.4)	-	(11.0)	外)ハテ 内)ケツ ハテ	灰	7.5YR6/3 黄緑	良好	70%	
第50012	甕	D2	包含層	(10.2)	-	13.7	外)ハテ	灰	7.5YR7/6	良好	60%	入付着
第50013	甕	H100	包含層	11.0	-	13.00	外)ヒキ 内)ハテ	灰 砂粒含む	7.5YR6/6	良好	90%	底部穿孔有り
第50014	甕	E4-5	包含層	9.6	-	(7.0)	外)ヒキ 煎込 内)ヒキ	灰	7.5YR6/5 黄	良好	20%	煎込残18条
第51001	高坏	C7	包含層	(16.7)	10.4	11.25		灰	7.5YR4 黄緑	良好	80%	
第51002	高坏	B-C4	包含層	(17.0)	-	(10.0)		灰	7.5YR6/5 黄緑	良好	50%	
第51003	高坏	C5	包含層	20.8	13.0	14.00	内)ハテ	灰	7.5YR4 黄緑	良好	80%	
第51004	甕	E5	包含層	10.2	-	4.5	外)ヒキ 内)煎込	灰	7.5Y7/2 黄	良好	40%	